

## 郷土が生んだスターたち

笠置シヅ子



尾上松之助

(尾上松之助遺品保存会蔵)

郷土の先人の功績や思想、文化を学び直す「リレー・シンポ『輝ける讃岐人(びと)』」。第10回(最終回)は、国民に喜びを届けた大衆芸能の2人、ブギの女王笠置シヅ子と日本初の映画スター尾上松之助を取り上げる。

東かがわ市に生まれた笠置シヅ子。13歳で大阪松竹楽劇部(大阪松竹少女歌劇団の前身)に入り、力強いステージで注目を集める。松竹楽劇団(SGD)や自らの楽団を率いて活動していた1947(昭和22)年、日劇のショーで歌った「東京ブギウギ」が大ヒット。以降「大阪ブギウギ」「買物ブギー」など一連のブギものをヒットさせて「ブギの女王」と呼ばれた。所狭しと動き回るダイナミックさとパンチの効いた歌声は戦争で荒廃した日本人の心を励まし、戦後復興の象徴とまで言われた。

幼いころから子ども芝居の舞台に立ち、後に一座を率いて地方を巡業した尾上松之助。やがて京都・千本座の牧野省三に見出され、「碁盤忠信 源氏礎」(1909)で映画の世界に入った。以来、忍術映画や豪傑、侠客もので人気を博し、生涯の出演作は1000本を超える。目をギョロリとさせて見得を切るところから「目玉の松ちゃん」の愛称で親しまれた。また松之助の寄付で低所得者向けの京都府営住宅が建てられ、「松之助出世長屋」と呼ばれたことはよく知られている。

日時 令和4年12月11日(日) 開場▶12:30 開演▶13:00

会場 能楽堂ホール tenjin<sup>ナイン</sup>9(岡山市北区天神町9-24)定員 150名(事前申込不要、会場先着順) **入場無料**

新型コロナウイルス感染症の状況により、定員は前後する可能性があります。



講師

ノンフィクション作家  
**砂古口 早苗** (さごぐち さなえ)

香川県善通寺市出身。新聞・雑誌にルポやエッセイを寄稿するフリーライターを経て、主に香川県出身の文化人を研究。評伝を執筆する。最近では遠縁にあたる反骨のジャーナリスト、香川県出身の宮武外骨の研究者としても活躍している。  
主な著書に『ブギの女王・笠置シヅ子』『外骨みたいに生きてみたい』『インターナショナルを訳詞した怪優・佐々木孝丸』など

演題 「**占領下のスーパースター 笠置シヅ子**」映画批評・映画研究者  
**世良 利和** (せら としかず)

1983年岡山大学大学院ドイツ文学専攻科を修了。福山大学専任講師、会社役員を経てフリーライター及び映画研究者として活動。現在、法政大学沖縄文化研究所の研究員を務めるほか、岡山大学大学院と岡山理科大学で非常勤講師を兼務している。琉球新報などに映画エッセイを連載中。博士(芸術学)。  
著書に『沖縄劇映画大全』『笠岡シネマ風土記』、共著に『まあ映画な、岡山じゃ県①〜③』など。

演題 「**目玉の松ちゃん、泥芝居一代記**」

問い合わせ

(公財)山陽放送学術文化・スポーツ振興財団

e-mail sanyohoso-zaidan@rsk.co.jp  
TEL 086-225-2770 FAX 086-225-5525

新型コロナウイルス対策 岡山県の基準に沿った対策を実施します。ご協力をお願いします。詳しくは財団ホームページ。

- 来場者のマスクの義務化(各自ご持参ください) ●37.5度以上の熱、風邪症状のある方は入場をお断りします。(同居家族含む)
- その他詳しくは、財団ホームページに掲載しています。